

大人も通える学びの場・五城目小学校へ足を運んでみませんか 「みんなの学校」各種講座を開講中!

「みんなの学校」は、0歳から100歳以上でも通える学びの場を目指す取り組みで、五城目小学校に誰もが気軽に集い、新たな学びや人とのつながりが生まれる場となることを目指し、様々なミニ講座を開講しています。
仲の良いお友だちと、近所の方と、おひとりの方もお気軽にご参加ください。

「みんなの学校」実施講座一覧（3月）

● みんなで体験！ ICT教育の今

小学校で行われているICT教育を体験しながら、「リモート学習って何?」「タブレットを活用した学び合いとは?」などの疑問にお答えします。

- 日時 3月3日(金) 午後1時30分～午後2時30分
- 講師 小玉史男さん(町ICT支援員)
- 会場 五城目小学校音楽室

● 映像をつくる

日常がこんなにも美しいということをハッと気づかせてくれる映像の数々はどのように撮影されたのか。五城目で育ち、映像の道に進んだ印藤さんのストーリーや、日常の豊さを切り取るヒントに迫ります。

- 日時 3月27日(月) 午後6時30分～午後7時30分
- 講師 印藤正人さん、印藤麻記さん
- 会場 地域図書室「わーくる」



- ◆各講座の申し込みは、以下のQRコードからのウェブ申し込みにより受け付けます。
- ◆各講座とも、受講は無料です。
- ◆2月に実施の各講座(みんなの学校見学会、国際理解講座、みんなのeスポーツ、時短家事・家事シェア入門)の詳細は、町広報1月号をご覧ください。



町教育委員会生涯学習課 (☎852・4411)

がんばる人にまる (敬称略)

令和4年度

男鹿市潟上市南秋田郡小・中学校読書感想文コンクール

- ▶優良賞 宮川 華宝(五城目小5年)、丑田 渚帆(五城目小6年)
- ▶佳作 日諸 美月(五城目小1年)、工藤 冴郁(五城目小5年)

令和4年度「わか杉チャレンジフェスティバル」

- ◆小学校の部
- ▶優秀賞 丑田 渚帆(五城目小6年)

第7回福祉作文コンクール

- ◆小学校の部
- ▶最優秀賞 丑田 渚帆(五城目小6年)
- ▶優秀賞 伊藤 一颯(五城目小6年)、佐藤 生玖(五城目小6年)
- ▶奨励賞 佐々木琉杏(五城目小6年)、青山 優花(五城目小6年)

「トラックの日」第27回絵画コンクール

- ▶佳作 日諸 美月(五城目小1年)

第63回秋田県児童生徒美術展

- ▶入賞 佐藤 茉莉(五城目小2年)、佐藤 高馬(五城目小4年)
関口 柚菜(五城目小6年)、石井 風花(五城目小6年)
猿田 理桜(五城目小6年)
- ▶佳作 川村 蘭奈(五城目小1年)、工藤 菜緒(五城目小1年)
小玉 優心(五城目小2年)、猿田 唯菜(五城目小2年)
草皆 圭佑(五城目小3年)、宮田 彬夢(五城目小3年)
嶋崎 葉乃(五城目小3年)、川村 純滉(五城目小4年)
佐藤 颯将(五城目小4年)、猿田 潤(五城目小5年)
原田 陽菜(五城目小5年)

第14回県新春書初め大会

- ▶特選 新谷 桔平(五城目小2年)、金野 零(五城目小2年)
草皆 菜桜(五城目小4年)、金野 結芽(五城目小4年)
阿部紗 理菜(五城目小6年)、高橋 千遥(五城目小6年)
- ▶秀作 森国 茉央(五城目小2年)、小玉 北斗(五城目小3年)
小玉 愛花(五城目小4年)、吉田 和桜(五城目小4年)
武田 咲桜(五城目一中2年)
- ▶佳作 黒丸 瑠星(五城目小3年)、宮川 陽向(五城目小6年)

五城目小学校視察のポイント 新しい時代の学びを実現する学校施設のあり方

これからの新しい時代の学び舎として、創意工夫により学校施設全体の特色・魅力を発揮し、豊かな学びを実現するための取り組みを紹介しました。



▲タブレット端末を使った授業の様子。紙と黒板中心の授業のみならず、1人1台端末を活用し、多様な学びの可能性を広げます。



▲階段教室での授業。教職員が「新しい時代の学校づくり」の視点で創意工夫を重ねながら授業を行うことで、校舎の特色を生かし、教職員や子どもたちの主体性が反映される学習空間を実現しています。
◀ワークホールと可動式家具の設置で自由な空間利用が可能となり、単一的な機能、特定の教科に捉われない横断的で多目的な学びを生み出します。

国立教育政策研究所の皆さんが 五城目小学校の授業を視察

対話を通じた新しい学校空間づくりのプロセスに関する調査研究

12月19日、文部科学省国立教育政策研究所の8人が五城目小学校を訪れ、「対話を通じた新しい学校空間づくりのプロセスに関する調査研究」というテーマのもと、各学年の授業を通じて校舎空間の使い方を視察し、町教育委員会や教職員らと意見を交わしました。



皆さんからの声

- 新校舎建設時の住民ワークショップ「スクールトーク」や校舎設計コンセプトの「越える学校」、大人も通える学び場としての「みんなの学校」などはとても良い事例で、全国的に展開される構想である。
- 多様な方からの意見により、固定観念を崩してくれた。「越える」という良い表現で学校という空間を活用している(以前スクールトークに参加した長澤悟さん)。

など

視察に訪れた皆さん



- 齋藤 福栄さん(文部科学省国立教育政策研究所文施設研究センター長)
- 山本 英樹さん(奈良県吉野町教育委員会事務局教育総務課課長補佐)
- 堀井 啓幸さん(常葉大学教育学部生涯学習学科特任教授)
- 長澤 悟さん(株式会社教育環境研究所所長)
- 斎尾 直子さん(東京工業大学環境・社会理工学院建築学系准教授)
- 北村 康子さん(二松学舎大学教職過程センター特別招聘教授)
- 藤井 淳志さん(文部科学省国立教育政策研究所文施設研究センター総括研究官)
- 谷口奈津子さん(文部科学省国立教育政策研究所文施設研究センター文施設調査官)